



令和5年3月10日発行

春一番が吹いた日は気温が上昇し、翌日などは寒さが戻ることが多くあります。これを「寒の戻り」といいます。年度末で忙しい日々かと思いますが、寒暖差もあるため体調を崩さないように気を付けていきましょう。

### 《ケアマネサロン》

2月28日「弁護士先生に聴いてみよう」を開催しました。2グループに分かれ弁護士の先生を囲み業務の中で困っていることなど相談に乗っていただきました。その中で福祉関係者のためのFAX相談「ほっとくん」のご紹介がありました。愛知県弁護士会ホームページから書式がダウンロードできます。FAX相談で無料です。ぜひ活用ください。

### 《山田歯科医院》

「食べる」「しゃべる」「笑う」をテーマに、一般的な歯科治療はもちろん、フレイル予防、摂食・嚥下障害対策にも積極的に取り組んでいます。訪問診療も行っておりますので、ぜひ一度お気軽にご相談ください。

052-661-0278 院長 山田雄一郎先生

### 今月の予定

- \*家族サロン 3月17日(金) 13:30~15:30
  - \*もの忘れ相談医の専門相談 3月24日(金) 14:00~15:30 小山医院 小山泰生先生
  - \*認知症サポーター養成講座 3月14日(火) 13:30~15:00
- ※総合事業におけるサービス事業所一覧(熱田区及び隣接区)を別紙にて送付しています。  
※予定は変更になる場合があります。ご了承ください。

### 特記の書き方のポイント

(1-7)立った状態から継続して(立ち止まらず・座り込まず)5m程度歩ける能力があるかどうかを判断(ポイント:連続できるか)

- ・立ち止まらなないと歩けない場合は、歩行とは判断しない(できない状態と評価)
- ・2mから3m程度しか歩けない場合は、歩行とは判断しない(できない状態と評価)
- ・速度、歩幅、方向感覚、目的等は問わない
- ・リハビリ訓練時に平行棒を使えば歩ける場合は、日頃の状態とは判断しない。



### 《お知らせ》

\*令和4年度熱田区いきいき支援センターご利用者満足度調査結果を送ります。ご覧ください。

\*令和5年度ケアマネジャー向け研修予定表は来月送付できるよう作成中ですのでご了承ください。なお研修会・医療講座等の内容についてご希望があればお知らせください。

\*熱田区内居宅介護支援事業所の皆様へ

4月19日(水)PM、居宅の交流会を予定しています。詳細は後日送付させていただきます。ぜひご出席いただきますようご予定ください。



【発行】熱田区いきいき支援センター:熱田区神宮三丁目1番15号 区役所等複合施設6階

TEL:671-3195 FAX:671-1155

いきいき支援センター分室:熱田区大宝三丁目6-26 シンボル日比野1階

TEL:682-2522 FAX:682-2505

あつたっくかわら版は熱田区社会福祉協議会のHPでご覧いただけます。 [h-atuta@nagoya-shakyo.or.jp](mailto:h-atuta@nagoya-shakyo.or.jp)

当センターが実施した令和4年度ご利用者満足度調査結果は次のとおりです。  
 皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、この結果をもとに、より一層のサービス向上に取り組めます。ご協力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

調査票回収期間：令和4年11月1日～12月28日

回答者数： 76名

1 回答者の内訳

	ご利用者様/本人	ご家族	ケアマネジャー	その他
人数	30	14	31	1
割合	39%	18%	41%	1%

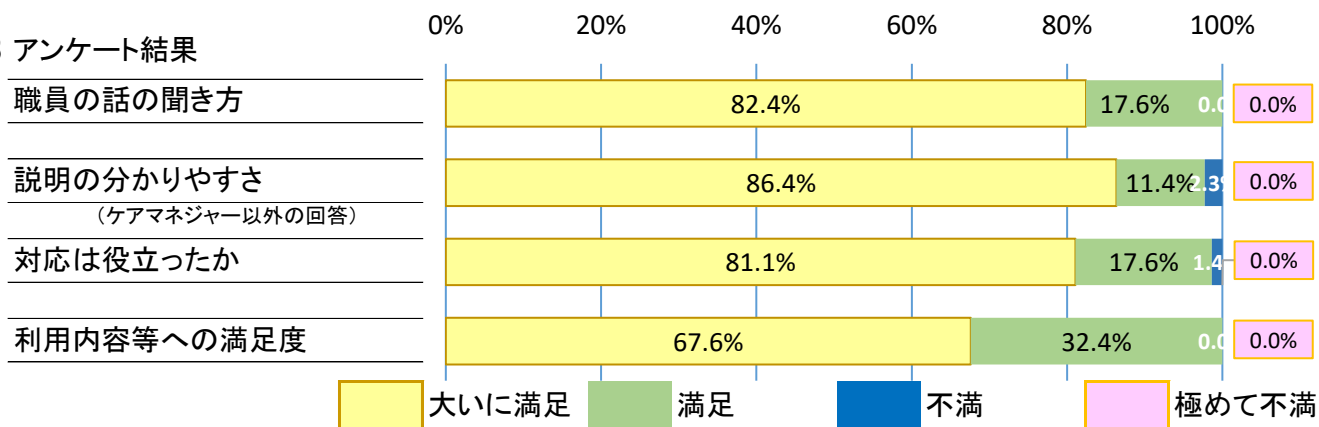
※有効回答数で算出



2 利用しているサービス

	総合相談	介護予防/第1号介護予防 支援事業	認知症の方を介護する 家族支援事業	ケアマネジャー 支援
人数	18	12	15	31
割合	24%	16%	20%	41%

3 アンケート結果



4 主なご意見・ご要望

- 手続きの仕方など丁寧に教えてもらった。【総合相談】
- コロナ以前の茶話会に戻ってほしい(サロン)。【家族支援事業】
- 広報で知ったのが1年前。もっと早く知ればよかったと思う。もう少し宣伝(紙面上)したほうがいい。【総合相談】
- 最初の担当者の初動で動きやすさが変わってくると思う。初動までに時間がかかればかかるほどなかなか円滑にすまない気がする。【居宅】
- 専門用語が時々わからなかった。仕事上の言葉でなく用語の使い方を注意してくれるとよかった。【総合相談】

5 今後の取り組み

この度は利用者満足度調査へのご協力をいただき、ありがとうございました。  
 今年度は昨年度より多くの方にアンケートご協力いただき、多くの皆様からご意見を賜りました。  
 総合相談では「相談してよかった」というご意見も多くいただいた一方、「専門用語がわからなかった」というご意見もいただきました。今後はできるだけわかりやすい説明や、相談者が「わからない」ということを発信しやすい面談を心がけていきたいと思います。また、コロナ禍で制限も多かった家族サロンにつきましては、できるだけ参加者の要望も踏まえた内容が実施できるような工夫を来年度は検討する予定です。  
 センター職員一人一人が接遇や資質の向上を目指すことでセンター全体の底上げを図り、ご利用者の皆様の満足度を高めていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。